

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 鶴ヶ島市の魅力の向上施策について（20分）</p> <p>鶴ヶ島市を未来につないでいくために、さらに魅力のあるまちとして多くの人々に住んでもらいたいと考えます。</p> <p>本市の人口は7万人レベルで人口減少が顕在化する周辺の市町村よりは優位性を確保しています。</p> <p>古典的なマーケティング手法でSWOT分析というものがあります。内部要因として、S：強み、W：弱み、外部要因として、O：機会、T：脅威として自分の組織を客観的に分析して、行動に生かす手法です。鶴ヶ島市の魅力度向上のためには、これらの自己、周囲の分析を行い、自己の強み・機会を伸ばし、弱み・脅威を減らす施策が望まれます。</p> <p>今後の本市の成長の源となる魅力度を向上させる取組について以下質問致します。</p> <p>(1) 本市の魅力に関する強み・機会、弱み・脅威の分析について</p> <p>(2) 本市の強み・機会、弱み・脅威をどう捉えていますか</p> <p>(3) 強み・機会を伸ばす施策、弱み・脅威を減らす施策について、年次と目標数値を踏まえお答えください。</p>	市長
<p>2 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金のゼロカーボン推進補助金について（20分）</p> <p>冷蔵庫、エアコン、ポータブル蓄電池などへの補助金制度は、省エネ家電により市政の目指すゼロカーボンにつなぐ素晴らしい補助金制度となるべきものと考えます。</p> <p>適用を受けた多くの市民から感謝の声も届いていることと思います。初めての試みの部分もあり、運用上改善すべき点もあろうと思います。今後、同種の施策の際によりよい運営ができるように今回の補助金制度について、以下の質問を致します。</p> <p>(1) 当局としての自己評価（良かった点、改善すべき点）につ</p>	市長

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>いて</p> <p>(2) 市民からの声・意見（良かった点、改善すべき点）について</p> <p>て</p> <p>(3) 自己評価及び市民の声・意見を踏まえた今後の事業の方向性について</p> <p>3 緑の豊かさを鶴ヶ島の魅力としてアピールする施策について (20分)</p> <p>上述の質問にも関係しますが、環境やゼロカーボンを強く意識する本市の施策は世の中の趨勢にも合致するものです。環境・ゼロカーボンにしっかり取り組む姿勢は、本市の特徴の一つとして他市との差別化、優位性確保が可能になると思います。この取組の一貫として鶴ヶ島の魅力として利便性と緑の中での暮らしの両立をアピールすることは重要だと考えます。</p> <p>子育てに環境はとても重要です。自然の中での活動は、主体的、能動的なものが多く、自立できる子どもの健全な育成にとっても重要であるとの説があります。ゲームに代表される昨今の受動的な日常作業では得られないものです。</p> <p>国土交通省では、市民緑地認定制度（いわゆる「市民の森」制度）を設け、地域住民が自然とのふれあいの場や生物の生息・生育地となる身近な緑地を利用できるため、公開された緑地の確保を目指しています。この法令に基づく鶴ヶ島市の市民の森の面積は13.5ha、これを人口で割った約1.92㎡は、全国一となっています（令和2年3月31日時点）。市民に開かれた市民の森を中心に緑豊かな鶴ヶ島市を未来につなぎ、本市の魅力の一つとしてアピールする施策が重要と考えます。以下の質問をさせていただきます。</p> <p>(1) 緑の豊かさ、市民の森の捉え方について</p> <p>(2) 緑を守るボランティア団体、個人等の活動について</p> <p>(3) 今後、鶴ヶ島の緑の豊かさをアピールする施策について</p>	市長